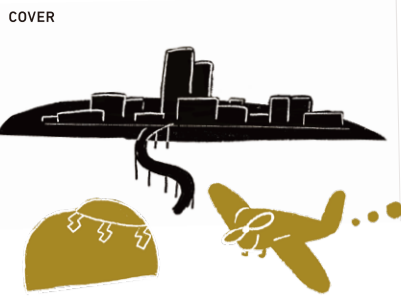


東ZINE



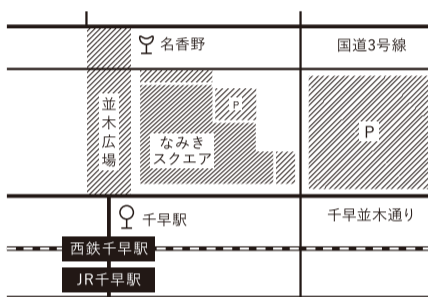
上: アイランドシティに続く、国内最長クラスのサイクリングロード「あいたか橋」。左下: 神功皇后が足場にして船に乗ったという「縁の石」。右下: 名島と西戸崎には飛行場跡地が残る。

なみきスクエア

なみきスクエアクラブの活動拠点、なみきスクエアは、東市民センター、千早音楽・演劇練習場、東図書館、証明サービスコーナーなどの機能を持つ複合施設です。

ACCESS

〒813-0044 福岡市東区千早4丁目21番45号
JR鹿児島本線「千早駅」下車 西口より徒歩約1分
西鉄貝塚線「千早駅」下車 西口より徒歩約1分



東ZINE vol.2 2022年1月31日発行 発行: なみきスクエアCLUB TEL 092-542-0224 HP <https://www.namiki-sq.jp>

西戸崎校区 海洋ゴミ問題とアート

私たちが住んでいる場所は海の近くに 있습니다。今回はそんな身近な海のことです。西戸崎校区にある「海の中道 青少年海の家」の方々に「海洋ゴミ問題と海洋ゴミを用いたアート作品制作」についてお話をお聞きしました。

聞き手: 古閑慶治

そして海へ流れ着きます。私たちの足元にあるゴミの終着点は海なんです。

西戸崎地区の海洋ゴミ

私たちが活動している北海岸にはとても多くのゴミが落ちています。それは潮の流れによって北海岸にゴミが流れ着きやすいこと。そして他の海岸と違い地域のボランティアの方が入りやすい場所であり、清掃車なども入れないためほとんど手付かずの状態になっていたことが原因でした。この一年ほどで職員の地道な活動や子どもたちと行うビーチクリーンアップキャンペーンなどの実施によってゴミは以前と比べてとても減ってきています。しかし新たに流れ着くゴミや砂の中に埋まっ



海の中道青少年自然の家の皆さん



海洋ゴミを使ったアート作品の制作者の浅田さん



いるゴミなどもまだまだあります。一緒に清掃活動を行った子どもたちは拾うことも大事だけれど、まずは捨てるということが大事だと言っていたことがとても印象に残っています。

海洋ゴミを使ったアート作品の制作

きっかけは職員で施設のキャラクターを作るという企画でした。今までも海岸に落ちていた貝殻や波で磨かれたシゲラスなど綺麗なものを使った作品を作ったりはしていたのですが、ふと落ちていたパイや発泡スチロールを使って何かできないかと思いつきました。いざ作り始めてみると面白くてどんどんできていきました。パイを顔にしりとり毛を髪の毛に見立てたり。そうしているうちに海洋ゴミを使って作った作品が並んでいる通称「サントモニカロード」ができました。

見た人たちは楽しんだり少し気味悪がったりなど(笑)反応はさまざまでしたが、皆さん海洋ごみでできていることに気づかず、説明すると驚いていました。私たち自身も海洋ゴミでアート作品を作ること、今までどう捨てるのか考えていなかったゴミへの見方が変わりました。海洋ゴミ

海洋ゴミって?

海洋ゴミは海岸に打ち上げられた「漂着ごみ」、海面や海中を漂う「漂流ごみ」、そして海底に積もった「海底ごみ」のことを言います。その中で私たちが回収しているのは主に西戸崎の北海岸の落ちていた「漂着ごみ」です。ペットボトルや空き缶から電化製品まで様々なものがあります。2050年には魚の数より海洋ゴミの数の方が多くなるとも言われています。

海洋ゴミはどこから来る?

海洋ゴミと聞いたら海や海岸に直接捨てたものかと思いきや、実は海に流れてくるものが多いです。福岡市には約131の河川があり、それらは最後には海に流れ込みます。町に落ちているゴミは雨が降ると川に流れ込み、



ミを用いた作品を見ることで海洋ゴミに対する意識を少し変えられたら良いなと思っています。

今後の展望

海洋ゴミの問題を考えたが作品を作っていく中で海の中道で行われた『森の美術館』での展示なども行ってきました。

これからは作品の展示の他にも子どもたちと環境問題について考えながらジャンクアートを作るワークショップも行えたらと思っています。

これからの海洋ゴミの問題について楽しみながら考え、まずは一人一人がゴミを捨てないようにすることから目指しています。



海辺の町にある、築100年の元時計店を改装した喫茶店/書店。自家焙煎コーヒー豆を丁寧にハンドドリップした一杯と「ずっと大切にしたい一冊」をテーマにセレクトした本がお楽しみいただけます。



「猫と暮らす」

本とコーヒーをつれて



猫は温かい。ふわふわの湯たんぽだ。
 寒い季節は猫と過ごすのが良い。朝起きて猫のご飯を準備する。
 寒い中、温かい猫が追いかけてくる。
 毎朝のYouTube配信の準備をする間に、
 猫は床や植物に挨拶をしている。
 その後は窓から外の景色を見ている。
 窓は猫にとってテレビのようなものだそうだ。
 とてもかわいい。街の景色という番組は面白いのだろうか。
 大きな車が通るのをじっと見ている。
 私には気付けないようなワクワクが
 この街に溢れているのだろう。

Sleep Coffee and Roaster



「わんにゃんよかネット」(東部動物愛護管理センターポータルサイト) ペットショップに行く前に。保護動物を家族に迎える選択肢があります。wannyan.city.fukuoka.lg.jp



50人の作家が描く猫を収めた『ねこ100テンポストカードブック』と佐賀のイラストレーター・ちえちひろの「にゃん手ぬぐい」。売上の一部が保護猫活動に寄付されます。

知人の車のボンネットから見つかった白い子猫が
 我が家にやって来たのは去年の冬でした。
 人の言葉を使わないやり取りは、猫の存在そのままに
 やわらかであたたかく、幸せな発見に満ちています。
 猫と暮らし始めて、ようやく自分事として
 考えるようになった動物保護のこと。
 今の自分にできることを、小さく積み重ねていけたらと考えています。
 夜、寝床に潜り込んできた猫の静かな寝息に、全ての猫が、
 あたたかく安心して眠れる日が来ますようにと願います。

ナツメ書店

みらい探偵団

かこを調べて、みらいを推理



1.名島海岸の砂浜:未来には「そらとぶくじらびょういん」や「なんにでもなれる」魚がいるようだ。2.名島神社の近くにある祠:昔はここに神社があったらしい。未来には花が咲いて鳥居ができています。3.名島海岸から見えるアイランドシティ:昔はここで宴会が開かれていたらしい。今は工場や倉庫が見える。未来は様々なものが空を飛んでいるようだ。

こどもたちが身近な地域の過去を調べて、これからの世界を推理する(みらい探偵団)。今回は名島神社の周辺を捜査し、地域の方々の話とさまざまな歴史を手がかりに、長い歴史に思いをはせました。
 調査のあとは、その成果をかたちにするためのドローイングに挑戦。アクリル板を立てて現在の風景をなぞりながら、そこで起こった/これから起こる出来事を想像し、過去・現在・未来それぞれの輪郭を描いて重ねあわせます。



アクリル板にこどもたちが交代で絵を重ねあわせ、一枚の作品が完成。

みらい探偵団の活動

なみきスクエアを拠点に活動する「遊びと学びのコミュニティスクール」。年間を通して様々な体験や活動に取り組んでいます。



※こどもたちの発見は必ずしも歴史的に正しいわけではありませんが、こどもの視点による見解として掲載しています。

なみきスクエアCLUB

なみきスクエアCLUBは、自分の好きなことや得意なことをかけ合わせながら、みんなのアイデアを形にしていける創造的な活動です。
 「アートイベント」「遊びと学び」「はじめての○○」「ひろばづくり」の4つのテーマで活動しています。

なみきスクエアに開校した、新しいアートスクール なみきアートスクール

九州を拠点として活動するアーティストが講師となり、多様な芸術表現のあり方や、柔軟な思考法、そして基本的な造形表現の技術を学ぶことができます。様々な思想、人種、生き方が混ざり合う時代の中で芸術を通して世界の多様性を学び、芸術の可能性を共に探求していきます。

information

【日程】1学期:5/1-7/25 2学期:9/4-11/28
 3学期:12/4-3/6(予定)
 芸術表現コース:隔週日曜日 13:30-16:30
 【受講料】通年65,000円、1学期単位(3ヶ月)25,000円
 【対象】15才~ 【定員】15名
 【お問合せ】TEL:092-542-0224 Mail:info@kodomo-abc.org

横断的な思考と文化実践 広がる/時代の芸術学校はじまります。多様性

自分世界を視点を
現代芸術 問いかけ 座席

知るを
知る世界を
作品を
つくる
展覧会を

2021年5月開校
受講生募集中!

世界的な複雑さに向き合う
世界を

視点を変える / 拡張する / 共有する

先と色彩と物質 全体とディテール 目と身体 見ることの多様性 思うことの高さ



楽しく学びながら、たくさんの成長を 遊びと学びの コミュニティスクール

「遊びと学びのコミュニティスクール」では、こどもたちが様々なクリエイターと一緒にワークショップや、地域の歴史や物語を人の記憶を通して学びながら、未来をみんなで考える「みらい探偵団」の活動を行います。そして、その中で得られた学びや経験を活かして一つの舞台公演を作り上げていきます。本スクールではより多様な学びを目指し、こどもの主体性や協同性、コミュニケーション力を育みます。

information

【お問合せ】TEL:092-542-0224 Mail:info@kodomo-abc.org

<https://www.namiki-sq.jp/club/>

東区で食べる

東区で食べる中華まん

料理研究家の宮村ゆかりさんが中華まんのレシピと東区のアジア料理のこぼれ話をご紹介します。

料理家

宮村ゆかりさん



千早を拠点にスパイス料理やローフードの料理教室「ミヤムの恋するcooking」を主宰。栄養士として栄養指導、レシピ開発、ケータリングなど料理家として活動中。なみきスクエアの子育て支援事業「バススクールの講師をすなど料理を通して幅広く活躍している。

Recipe Vol.2 ベジ中華まん

台湾屋台で食べられるような蒸し立てふわふわの本格中華まん。
 手作りの皮で、野菜をゴロゴロたっぷり包んでみましょう。

材料/6~8個

- 【皮】
 A 中力粉…240g
 ベーキングパウダー…小さじ1
 B ドライイースト…小さじ1
 砂糖…大さじ1.5
 C 油…大さじ1
 D ぬるま湯…120g
 豆乳…大さじ1

- 【ベジあん】
 ○たまねぎ…100g
 ○生姜…10g
 ○きのこ…100g
 ○長ネギ…5cm
 ○タケノコ水煮…40g
 ○干し椎茸…2枚
 ○塩…少々

- 水切り豆腐…100g
 (小さめの角切り)
 ○油…大さじ1
 ○醤油…大さじ2
 ○ごま油…大さじ1
 ○砂糖…大さじ1
 ○片栗粉又は米粉…小さじ2~
 (同量の水で溶く)

みじん切り

作り方

- 【皮】
 1.DとBを合わせてよく溶かしておく。
 2.Aをボウルに合わせて1と混ぜ合わせる。
 3.軽くこねてCを加え、よくこねていく。10分~15分程。表面が滑らかになるまでこねて丸める。
 4.ボウルに薄く油を塗って移し、夏なら常温で30分程発酵させる。乾燥しないように布巾などかけておく。冬はぬるま湯を別のボウルにはってその上に生地が入ったボウルを浮かべて発酵させる。
 5.ガス抜きをして6~8等分にし、軽く丸めて円形に伸ばし、具材を包んで蒸し器に並べ、温かいところで15分置く。
 6.蒸気の上昇した蒸し器で強火で15分蒸す。



- 【ベジあん】
 1.フライパンで油、玉ねぎ、生姜、きのこ、塩を加えしんなりするまで炒める。(焦げないように注意!)
 2.全ての材料を合わせ、軽く炒めベースの完成。他の具材と合わせ、成型できるくらいの固さになるまで粉類でとろみをつけ適宜調整して使ってください。※冷やした方が包みやすいので、すぐに使う場合はパットに広げ冷ましておく。

東区箱崎といえば、九州大学キャンパスがあったことなどから留学生が多く、外国からの移住者が多いことでも有名です。そのため、多国籍料理店や食材店が多い地区でもあります。中華料理や韓国料理、タイ、ネパール、ベトナム、パキスタン料理など特にエスニック料理と言われるジャンルのアジア料理店が多くあります。寒い冬には、香辛料を使ったエスニック料理を食べて体をあたためるのもよいのではないのでしょうか。また、本格的な台湾屋台のようなふかふかの生地であつぷりの具材が包まれている中華まんを出してくれる店もあり、熱々の蒸し立てを渡してくれます。なかなか海外旅行にも行きづらく、部屋に籠りがちな冬、散歩がてら箱崎のアジア料理を散策して、テイクアウトしてみるのはいかがでしょうか？